

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日)7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

〔ホームページ〕<http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

4

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

ご 案 内

- ・4月5日：主の受難
- ・4月9日：聖木曜日
- ・4月10日：聖金曜日
- ・4月12日：主のご復活
- *司祭が教会を代表し捧げる聖なる儀式に、信徒の皆さんはそれぞれの場所で、「聖書と典礼」などを活用しながら、霊的に参加くださるようお願い致します。
- ・洗礼式は延期いたします。
- ・4月8日の聖香油ミサ、4月29日の司祭叙階式も延期します。
- ◆4月30日まで、共同体でのミサ、教会での集会、行事は中止になります。この時をふさわしく生活するために、2面をお読みください。



フランシスコ教皇様が、すべてのキリスト教徒に対し、パンデミックの脅威に立ち向かうための世界一斉の祈りを呼びかけておられます。(下記)

3月27日午後6時から、聖ペトロ大聖堂前の壇上で、無人の広場を前に祈りのときを持たれました。祈りの最後に、全免償を伴う「ウルビ・エト・オルビ」(ローマの民と全世界の人々)に祝福を、お与えくださいました。

勉強会

杉原 寛信 神父

毎週木曜日

10:00 キリスト教入門

14:00 聖書の分ち合い

19:00 キリスト教入門

コロナ感染症に苦しんでいる方、医療者、介護者のために祈りましょう。
ミサに参加する事もできない日々ですが、この時を恵みの時とできるように家族での祈りと対話の時間にしましょう。

◇キリスト教講座Ⅱ期 休講中。

・金曜コース：休講しています。

・水曜コース：休講します。

*キリストの光に気づくために！

*どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟：4月いっぱい中止です。希望者は、個別に司祭に依頼してください。

神の愛の御母よ、わたしたちを助けてください。
わたしたちが御父のみ旨にかなう者となり、イエスが命じることを行えますように。
イエスはわたしたちの苦しみを引き受け、わたしたちの苦悩を自らに背負われました。
十字架をとおして、わたしたちを復活の喜びに導くために。アーメン。

聖なる神の御母よ、
あなたの保護のもとにわたしたちは身を寄せます。
試練の中で祈るわたしたちを見捨てないでください。
栄光ある、祝福されたおとめよ、
わたしたちをあらゆる危険から守ってください。

救いと希望のしるしとして、
わたしたちの歩みを照らしてください
マリアよ。
あなたに、病者たちの健康を託します。
あなたはイエスと苦しみを共にされ、ゆるがない信仰をもって、十字架のもとにどまりました。
すべての人の救いである、マリアよ。
あなたはわたしたちの必要を知り、それに配慮してくださいることを、わたしたちは確信しています。
ガリラヤのカナでの出来事のように
この試練の時を経て喜びと祝祭が戻りますように。

教皇フランシスコのいのり
コロナ感染症の収束のために祈りましょう

大名町教会の信徒の皆様へ

ご存知のように、新型コロナウイルス感染症は勢いを猛烈に強めています。私たちの身近に激しく迫っています。

福岡教区顧問会は、人（他者）を大切にする愛の視点から、4月30日（木）までミサ中止延長の決定を致しました。

信徒の皆様をお願いします。何よりも忍耐と冷静さを保ち、安易な行動を控えてください。強い意識を持って人（他者）を大切にすることをとってください。

それぞれの家庭での日々の生活、特に聖週間を過ごされるにあたり、次のことをしっかりと心に留めてください。

① 共同体でのミサ中止は4月30日（木）まで延長となります。その間、ミサ参加義務は免除されます。代わりに、小さな教会共同体である家庭で、「聖書と典礼」などを活用しながらお祈りください。

司祭が小教区を代表して捧げるミサに霊的に参加し、霊的聖体拝領を受けてください。

② 大名町教会の聖週間の典礼時は左記の通りです。

「主の受難（4月5日）」 9時
「聖木曜日（4月9日）」 19時
「聖金曜日（4月10日）」 19時
「復活徹夜祭（4月11日）」 19時
「主の復活（4月12日）」 9時
司祭が教会を代表して捧げる聖なる儀式に、信徒の皆様は参加できませんが、それぞれの自分の場所での「聖書と典礼」などを活用しながら、霊的に参加くださるようお願い致します。

③ 洗礼式は延期し、ふさわしい日程を検討致します。

④ 「聖香油ミサ（4月8日）」と「司祭叙階式（4月29日）」は延期となりました。

⑤ 緊急の状況以外の病人訪問は控えます。葬儀に関しては、司祭にご相談ください。

⑥ 教会での集会・行事は中止、ないしは延期とします。

⑦ 教会に来る機会が制限されていますが、四旬節の愛の献金へのご協力よろしくお願い致します。

⑧ 信徒の皆様への特別免償（全免償）が、以下の条件のもと与えられます。

(1) 新型コロナウイルス感染症

霊的聖体拝領の祈り

フランシスコ教皇 3月19日の
ビデオメッセージより

おおわたしのイエスよ、
あなたのみもとに身を投げ出し、
悔い改めた心をお捧げします。
自分の小ささゆえに、
またあなたのみ前にあるがゆえに、
わたしの心はへりくだっています。
愛の秘蹟においてあなたをあがめます。
わたしの貧しいところに、
あなたをお迎えしたいと望んでおります。
秘蹟においてあなたを
拝領する幸せを待ち望みながら、
あなたを霊的にお受けしたいのです。
おおわたしのイエスよ、
わたしのもとに来てください。
わたしもあなたのみもとに参ります。
生においても死においても、
あなたの愛で
わたしのすべてを包んでください。
あなたを信じ、あなたを望み、
あなたを愛します。
アーメン

により、病院もしくは自宅に隔離されている信者の方々は、神への信仰と隣人へのいつくしみと愛をもつて、「信仰宣言」「主の祈り」「アヴェマリアの祈り」を唱える。

(2) 新型コロナウイルス感染症の医療従事者、患者の家族、関係者の方々は、神への信仰と隣人へのいつくしみと愛をもつて、「信仰宣言」「主の祈り」「アヴェマリアの祈り」を唱える。

(3) 新型コロナウイルス感染症の収束と、これに苦しむ人々への慰め、そして主のみもとに召された人々の永遠の救いを神に祈り求める人は、「ロザリオ」「十字架の道行」

「聖体訪問」「聖体礼拝」「30分間の聖なる読書」のうちの一つを行い、神への信仰と隣人へのいつくしみと愛をもつて、「信仰宣言」「主の祈り」「アヴェマリアの祈り」を唱える。

世界で猛烈な勢いで感染をもたらすこの感染症は、人ごとではなく、私たちの短かに迫っていることです。決して気持ちを緩めず、自分よがりやを遠ざけ、神の計らいに委ね、人として信仰者として、最善のことは選り取りまわります。

カトリック大名町教会

主任司祭 杉原 寛信

祝 2020年2月2日(主の奉献)、13人が堅信の秘蹟を受けました。

堅信のためには約3ヶ月、杉原神父様からの勉強を通して、堅信というものを学んできました。正直、勉強の前も、始めから、私も堅信を授けようかと思ひ、迷っていました。しかし、勉強を始めたとき、自分の内面を覗くことができた、杉原神父様の対話の中で、頭の中にある神様の愛を改めて感じ、私に迷いから進み始めた心がありました。前に進むため、始めに迷った落ち込みから、こんなに迷った



も、「こんな私を神様は好きなんだよ」との母からの言葉に、私は自分だけでいっばい神様の方を向いていなかったのだと、いつも神様はどんな私でも大丈夫だとそばにいてくださったのだと気がつきました。神様は私たちの最強の味方なのです。こんなに迷ったり、逃げたりした私のために勉強会でたくさんのお話をしてくださった杉原神父様、一緒に勉強をした江頭さん、悩みを聞いてくださった方、ありがとうございます。マリア・コルベ 江口 京



★今年2月2日に、堅信を受けた子どもたちは、時間をかけて準備を続けてきました。その中に、英語ミサの二人の姉弟がいたことは大きな喜びでした。子どもたちは、自分たちが周りの人から大事にされ、愛されていることを学び、感じました。そのような周りの人を通して神様から愛されていることも意識しました。また、自分たちが周りの人のことを思いやっていることに気づきました。大人に護られ、教えてもらう立場だった子ども達も、堅信に向けて、自分なりの考えをもち、それを自分の言葉で表現できるようにすることを目指し、私たちが誰かを信じ、何を信仰しているのかを勉強するように努めました。また、教会の大事なメンバーとして活動するための準備として、積極的に教会のいろいろな活動や奉仕に参加しました。黙想会や巡礼を通して、大名町教会以外の教会の信仰も知ることができました。堅信が近づくにつれ子どもたちも同志が親密になり、当日は家族ともども喜びが湧き出てくるように、秘蹟がもたらす受堅者たちの成長を感じました。リーダーへの最高の恵みです。

堅信を受け、強められた受堅者が、この恵みを大切に、更に成長することを期待し、願っています。

教会学校リーダー
パウロ 久志 昇

大名町教会2・3月の現勢

【転入】 (教会から)

- ・パウロ 山下 善則/マリア 美由紀/パウロ 眞人/マリア 美奈実(光丘教会)
- ・ペトロ 前島 尚徳

【転出】 お元気で (教会へ)

- ・マリア 下田 三智子

【帰天】 永遠の安息を祈ります。

- ・3月23日

マリア テレジア 織田 郁子

【堅信式】 おめでとうございます!

- ・フランシスコ 池田 陸人
- ・モニカ 石原 海晴
- ・マリア テレジア 岩井 子代
- ・マリア 宇都宮優奈
- ・ルチア 梅谷 光
- ・ラファエル 北島 響
- ・アウグスチヌス 豊島 悠人
- ・マルチン デポレス 松本カン
- ・ルチア 山内 条留
- ・ラファエラ 石橋詩織 ジョイス
- ・ジェームス 石橋 ジェームス 優
- ・マリア コルベ 江口 京
- ・マルグリット マリー 江頭 清美

教会委員会

2月9日委員会

検討事項

- 1 宣教司牧評議会(教会委員会)委員の改選について
- ・38名の推薦あり、2月23日までに被推薦者に意思確認を行い、2月末までに委員長に報告予定である。
- 2 絵画の寄贈について
- ・教皇来日企画展の際に作者、森田氏より寄贈の絵画は大名町教会で譲り受けることになり、設置場所、保存について検討する
- 3 防犯カメラのリニューアルについて
- ・防犯カメラリース期間満了に伴い新たな契約締結。2階聖堂入り口付近に1台増設、計9台設置予定。リース料金は従来と概ね同様な金額。
- 4 信徒総会、会計報告の日程について
- ・2020年度、信徒総会の日程5月24日。
- ・2020年度、会計報告会の日程6月21日。
- 5 駐車場の許可制導入について
- ・教区役員会にて承認を得られ、4月末頃より実施予定。今回の委員会にて方向性を示す。
- 6 堅信式の振りかえり
- ・2月2日(日)、13名の受堅者。聖書とロザリオを教会よりプレゼント。
- ・パーティは、高齢者の参加者も

多く立食から着座会式にした。好評であった。

7 その他

① 枝の主日について

例年、枝は神学校よりいただいていたが、今年実験的に司教館の枝をヨゼフ会にて、準備予定。本数330本。4月2日刈り取り、4月4日枝洗いを行う予定。

② 新型コロナウイルス感染症への対応について

お知らせにて告知、内容などの変更などメール、ファックスにて連絡。

③ 教皇ミサ後の、取り組みについて

信徒から寄せられた感想を揭示し分かち合いを行う予定である。

④ 教区100周年への対応について

2027年に教区100周年を迎える。信徒協にて検討を行い福岡教区司祭団に提案をしてはどうかとの意見あり。

報告事項

① 典礼部

・メデイナ神父様追討ミサ

2月10日(月)大名町教会にて。

・朗読者の集い

2月16日(日)ミサ終了後実施。

② 財務部

・電力会社を九電みらいエナジーから、九州電力へ変更手続き完了した。

・クリスマス特別献金額より、教皇来日献金として40万円を中央

協議会へ送金した。

③ 営繕部

・緊急時における館内の水や電力の供給状況について近日中に点検予定

・来年度の工事予定についての概要説明、高架水槽更新工事、受水槽蓋修理、大聖堂空調機修理、排水予定、司祭館台所換気扇交換、バス換気扇交換工事など。

④ 美化部

・復活祭前の大掃除4月5日、ミサ後、全員で実施予定。

⑤ ヨゼフ会

・2月23日より1泊2日にて佐賀巡礼の案内あり、佐賀修道院、不動山殉教地、多久、武雄、佐賀教会の巡礼。

荒れ野

会長のつぶやき

♪あなたの息吹を受けて、私は新しくなる♪

2月26日(水)灰の水曜日、司祭は、『回心して福音を信じなさい』と額に灰をかけた。

あの日から1か月、さらに1か月と続く私たちの荒れ野。信徒の皆さんはいかがお過ごしでしょうか? 不要不急の外出を避け、感染拡大に様々な自粛を要求されています。情報だけは全世界から瞬時に。人、物、金がこれほどまでに動かない世界を想像したことがあるでしょうか。グローバルな世界から鎖国政策へ。教会においても公開ミサ、あらゆる活動が中止となりました。信徒の皆さまにと

っても、今までの信仰生活の中で、主日のミサにあずかり、御聖体をいただき、信徒の交わりの中で明日への恵み、力をどれほどいただいていたことでしょうか。今は様々な状況に絶えること、祈ること、友と連絡を取り合うことが大切なことでしょうか。私はこの四旬節の間、毎週日曜日、ハーモニカ、ハガキ、鉛筆を片手に、住む町の寺社巡り。この足で歩くこと、出向くことの大切さを学びました。たくさんの方の生きる言葉がかかげられ人々がおられるのです。近くの金山、坊主が滝の中腹にある慈明院というお寺に矢印に示されるまま、険しい山道、深い山に上りました。老婦人が通りすがりの私を快く迎え入れてくださり、一服のお茶を差し出して下さいました。老僧が建立、現在3代目、老僧は若かりし頃、キリスト者、幼稚園に通う小さな子どもさんが事故にあい、両足膝切断、当時の司祭も祈り、たくさんの方の面倒を見てくれたそうです。しかし師は自責の念、と子どもへの愛を全うするため仏の道を歩まれたとのこと。命の話、出会いはでした。まさに私たちは荒れ野の中、誰もが背負う十字架、この全世界に感染拡大するコロナウイルスの収束をそれぞれの自覚とともに祈りたいと思います。老婦人からお礼の手紙、『ほほえみあつて、いきてゆく』会掌。

大名町教会信徒会長

浜崎 公夫